

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	辻野 ヒロ子(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	新石垣空港の整備事業について		
	(1) 工事の進捗状況と今後のスケジュールについて		
	ア 赤土流出防止・地下水保全対策について万全の策を講じているのか伺いたい。		
	イ 人工洞窟の状況はどうなのか伺いたい。		
	(2) 新空港ターミナルビル建設の進捗状況について		
	ア 会社設立の目途と今後の見通しについて伺いたい。		
	イ 概算工事費についてどのくらい見込んでいるのか伺いたい。		
	(3) アクセス道路の整備について		
	ア 県のリーダーシップの必要性と今後のスケジュールについて伺いたい。		
2	原油高騰などによる離島への影響について		
	(1) 有村産業の破綻による航路の確保について		
	ア 事業譲渡先の新会社「琉球フェリー」の設立に向けて県の対応(出資等)について伺いたい。		
	イ 「離島航路補助指定」の必要性を県、国へ支援を強く働きかけることについて伺いたい。		
	ウ 台湾との航路の確保と保全について見解を伺いたい。		
	(2) 離島航路運賃値上げの対策と支援について		
	(3) ガソリン価格や諸物価の値上げによる住民の暮らしの問題について		
	(4) 漁業への影響の支援策について		
3	観光行政について		
	(1) 八重山入域観光客数の低迷について		
	ア 原因と対策についてどのように認識しているのか伺いたい。		
	イ 長期滞在型を目指す方策と外国観光客の増加対策について伺いたい。		
4	八重山・宮古地域の出先機関の統合廃止について		
	(1) 八重山・宮古支庁組織の改編について		
	ア 地元の理解が十分得られないとして見送ったが、今後どのように考えているのか伺いたい。		
	イ 権限強化など懸案事項についてどのように考えているのか伺いたい。		
	(2) 県立図書館八重山分館の存続について		
	ア 県立図書館の役割と必要性について見解を伺いたい。		
	イ 今後のあり方について、凍結し検討すべきだと考えるがどうなのか伺いたい。		
5	産業の振興について		
	(1) 畜産市場の現状と対策について		

- ア 子牛価格の暴落による改善策について伺いたい。
 - イ 飼料運搬料金の低減化について伺いたい。
 - (2) 県立八重山養護学校の増改築について
 - ア 工事の概要と進捗状況について伺いたい。
 - イ 地元企業への分離・分割発注について伺いたい。
 - (3) 県営新川団地の改築について
- 6 環境問題について
- (1) 海岸漂着ごみ問題について
 - ア 本県の海岸に漂着する「ごみ」の実態と対策について伺いたい。
 - イ 環境省が石垣島、西表島を対象に実施している「漂流・漂着ごみ国内削減方策モデル事業」の概要と実績について伺いたい。
 - (2) 地球温暖化対策について
 - ア 温室効果ガス（CO₂）排出の削減について、県の対策はどうなっているのか伺いたい。
 - イ レジ袋全県有料化について、時期と削減目標について伺いたい。
- 7 水難事故防止対策について
- (1) 石垣市新川川の痛ましい事故の再発防止について
 - ア 事故発生後、どのような対策をとったのか伺いたい。
 - イ 新川川の整備状況と今後の対策について伺いたい。
 - (2) 県内の水難事故の発生状況と対策について
 - ア 安全で快適なマリンレジャーの取り組みと施設整備について伺いたい（遊泳区域・危険箇所・ハブクラゲ等の対策など）。
 - イ 各地区に水難事故防止推進協議会が結成されているが、どのような取り組みをしているのか伺いたい。
- 8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	吉元 義彦(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	医療問題について		
(1)	北部広域における救急ヘリ事業の継続について		
ア	北部地域における救急ヘリ事業の必要性についての認識、そして「NPO法人 MESHサポート」の設立についてどう考えるか。		
イ	北部地域における救急医療体制、救急ヘリ体制の整備について		
ウ	救急ヘリ事業存続に対する県民の高まりつつあるコンセンサスについて		
エ	一県複数機設置について厚生労働省に要請すべきと考えるが県の見解について		
2	基地問題について		
(1)	普天間飛行場の代替移設について		
ア	6月24日の仲井眞知事と町村官房長官との会談について		
イ	島袋吉和名護市長との連携・協力について		
ウ	次回協議会に向けた仲井眞知事の決意について		
3	我が党の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	桑江 朝千夫(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	中部合同庁舎建設について		
	(1) 完成までのスケジュールについて		
	(2) 職員の配置について		
2	東部海浜開発リゾート計画事業について		
	(1) 観光客1000万人目標との位置づけについて		
3	教育について		
	(1) 学力向上対策の取り組みについて		
	ア 生活実態調査は行ったのか。		
	イ 改善策の策定に至ったか。		
	ウ 教員の指導力強化を図るべきか。		
	(2) こども未来ゾーンの役割・必要性をどう考えるか。		
	ア 補助金から負担金への移行は考慮できないか。		
4	米軍の直接発注事業について		
	(1) 建設工事の発注について		
	ア 年間発注の総額と件数。		
	イ 県内業者の受注率。		
	ウ 今後の対策。		
5	沖縄警察署の庁舎建てかえ計画について		
	(1) 現所在地なのか移転するのか、その決定の時期は。		
6	我が党の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	中川 京貴(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>基地問題について</p> <p>(1) 基地整理縮小及び跡利用について</p> <p>ア これまでの実績は。</p> <p>イ 嘉手納以南の返還に関する手続等の進捗状況は。</p> <p>ウ これからの知事の姿勢は。</p> <p>(2) 沖縄県における基地関連収入について</p> <p>ア 傾斜配分の内訳と今後の見通しは。</p> <p>イ 交付金の目的と配分率の算定は。</p> <p>ウ 傾斜配分による主な事業の内容と今後の活用は。</p> <p>エ 傾斜配分の増額は。</p> <p>オ 沖縄県を基地所在地市町村都道府県として、認めさせることはできないか。</p>		
2	<p>本県における子育て支援について</p> <p>(1) 乳幼児医療費の無料化制度の経緯について、また、財源措置について</p> <p>(2) 乳幼児医療費の無料化制度を7歳未満(小学1年)まで引き上げることはできないか。</p> <p>ア 引き上げた場合の対象乳幼児数と財源は。</p> <p>(3) 本県における乳幼児医療費無料化制度(現物給付)について</p>		
3	我が党の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	島袋 大(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	那覇空港滑走路の拡張整備について		
(1)	那覇空港調査連絡調整会議の進捗状況を伺う。		
(2)	今後の課題として国と県との役割分担等、またかかわる市に対しての作業工程について伺う。		
(3)	2015年までに供用開始を目指している。2015年供用開始実現に知事の考えは変わりないか伺う。		
(4)	沖縄振興計画の中で観光客数が2011年までに650万人から、なぜ750万人に変わったのか。需要予測の根拠は何か伺いたい。		
(5)	滑走路3案、210メートル案、930メートル案、1310メートル案とあるが、これからの話し合いの中で3案のうち1310メートル案で強く進める考えはないか伺う。		
2	観光振興について		
(1)	沖縄フィルムオフィス事業のスタートした時期と比較しての成果はどうなっているのか。		
(2)	ロケ地が新たな観光地となり地域の経済活性化につながる事例も多いと思うが、県を挙げた支援体制はどのようになっているのか伺う。また、ロケを行った地域の状況はどうなっているのか伺いたい。		
(3)	観光客1人当たりの県内消費額は県が設定した目標値には遠いようだが理由は何か。		
(4)	観光客がふえても県全体に広がる直接的経済効果は低いように思うが、対応策はどうなっているのか伺う。		
(5)	県内の宿泊施設実態調査はどうなっているのか伺う。		
(6)	低料金で宿泊できる民宿等は、県としての指導はどのように行っているのか伺う。		
(7)	観光客1000万人を達成するためには外国人観光客100万人を達成しなければならない。外国空港から那覇空港への着陸料10分の7を国に対して軽減させる考えはないか伺う。		
(8)	自主財源確保を目指し、観光税導入を考えないか伺う。		
3	警察行政について		
(1)	豊見城市真嘉部地域から交番所の早期設置に関する陳情が平成19年2月採択されているが、その後の進捗状況を伺いたい。		
(2)	豊見城の真嘉部地域での犯罪件数を把握しているのか伺いたい。		
4	我が党の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	糸洲 朝則(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>建築行政について</p> <p>(1) 改正建築基準法の施行から1年余が経過しましたが、この1年間を知事はどのように総括されるか、所見を伺う。</p> <p>(2) 沖縄県の建築物は、住宅から高層建築、特殊建造物に至るまで、ほとんどがRCづくり及びSRCづくりとなっている。これらの建造物に厳格な審査、とりわけ構造設計のピアチェックが課され、確認作業の滞る大きな要因となっている。戸建て住宅のたぐいまで同様な扱いを受けている。県外の住宅は木造及び鉄骨づくりとなっており、これらについては、200平方メートル以下は構造計算が除外されている。したがって、何ら確認業務に影響をきたしていない。よって、200平方メートル以下のRCづくりの戸建て住宅等のピアチェックを除外するよう法の見直し、あるいは沖縄に限定した見直しを国に強く要請すべきと考えるが知事の所見を伺う。</p> <p>(3) 気候風土や生活様式、住文化の違う北海道から沖縄まで、全国一律の制度や建築基準法のあり方に疑問を感じる。かつて琉球政府時代の経験等もあり、沖縄の地域特性と建築文化を生かした「ウチナービケン」沖縄発の建築基準法の制定に取り組んではどうか。知事の所見を伺う。</p> <p>(4) 建築基準確認業務の現状と今後の見通しについて</p> <p>ア ピアチェックの受理件数とチェック済み件数について</p> <p>イ 適合性判定員の体制の(常勤、非常勤等の数)現状及び今後の展望について</p> <p>ウ 「図書省略認定制度」を活用した物件の申請件数について</p> <p>エ 県外構造設計者の活用状況の現状と課題、今後の対応等について</p> <p>オ 公共工事の中止命令の件数。(県及び各市町村)</p> <p>カ 「事前審査制度」を恒常化できないか。</p> <p>(5) 改正建築士法施行への対応と取り組みについて具体的に説明せよ。</p> <p>ア 定期講習会の実施。</p> <p>イ 構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の登録数の予測は。また、今後の対応について</p>		
2	<p>港川人骨出土地の文化財指定について</p> <p>(1) 港川人骨の発見から、40年余が経過しているにもかかわらず、発見地が文化財として国の指定を受けないまま、放置されていることに心が痛みます。このことについてどのように考えているか。知事に伺います。</p> <p>(2) 港川フィッシャー遺跡が国指定史跡として指定を受けて、進入路など環境整備をすれば、地域文化振興、児童生徒の科学心の涵養、観光資源としての波及効果は大きいものがあると思うが、知事はどのように考えているか。</p> <p>(3) 2月議会で質問したが、その後の史跡指定に向けた調整はどのような状況か。強力な取り組みなしには、今後も調整中がずっと続くことになるがどうか。</p> <p>(4) 3月以降、地元や関係機関とどのような調整を行ってきたのか、経過を具体的に説明してもらいたい。</p>		

- (5) 地元における調整に時間を要しているようであるが、その原因はどこにあるのか。
- (6) 原因があるとなれば、今後どのようなアクションを行えばよいのか、国指定の文化財にするための取り組みに向けた考えや計画を具体的に示してもらいたい。
- (7) 文化財指定に当たって、用地買収及び進入道路など周辺施設整備に関して国の補助はどうなるか。高率補助期間中に実現すべきではないか。
- (8) 教育長が現場を確認し、八重瀬町長とお会いして史跡指定に向けて強力に取り組むことが大切であると考えているがどうか。

3 地域課題について

石嶺地域にコミュニティーバスを走らせる計画を策定中ですが、その際クリアしなければならない条件に、信号機の設置、Uターン場所やバス停の確保等が挙げられているようです。よって次の質問をいたします。

- (1) 石嶺町4丁目365番地（福祉センター近く）付近の信号機の設置について
- (2) 沖縄県身体障害者更生相談所、同更生指導所跡地を回転広場及びバス停として提供できないか。
- (3) 県立北嶺学園内を回転広場として提供できないか。
- (4) 県立石嶺児童園集団指導棟前をバス停として提供できないか。

4 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	上原 章(公明県民会議)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	<p>経済・雇用政策について</p> <p>(1) 沖縄振興計画で示された平成23年度までの県民所得、就業者総数、県内総生産の見通しは達成できるのか伺います。</p> <p>(2) 県民所得の水準が全国平均の7割程度にとどまっている要因と改善策を伺います。</p> <p>(3) 「県中小企業振興基本条例」の実施計画案及び「県中小企業振興会議(仮称)」の内容について伺います。</p> <p>(4) 原油高騰の県内企業への影響及び対策について伺います。</p> <p>(5) ジョブカード制度の取り組みと県の対応を伺います。</p> <p>(6) 若年者雇用のミスマッチを改善するため、就職に対する「教育システムの導入」や「インターンシップ」の充実が叫ばれています。取り組みをお聞かせください。</p>		
2	<p>福祉行政について</p> <p>(1) 乳幼児医療費の助成拡充と給付方法について伺います。 <small>ア</small> 通院分を就学前まで無料にできないか。 <small>イ</small> 給付方法を自動償還払い及び現物給付方式にできないか。</p> <p>(2) DV及び児童虐待の現状並びに対策はどうなっているか伺います。</p> <p>(3) DV被害者の申請で児童手当の支給先を変更できる制度がスタートしているが、内容及び取り組みを伺います。</p> <p>(4) 「女性医師復職研修支援事業」等の女性医師の就業支援について伺います。</p> <p>(5) 自殺対策の取り組み状況を伺います。(原因・課題・対策)</p> <p>(6) 自殺の原因、動機で最多と言われる「うつ病」対策は重要であり、県が取り組んでいる「うつ病デイケア」事業は今後とも拡充する必要があると考えるが見解を伺います。</p>		
3	<p>教育行政について</p> <p>(1) 「学力向上」の取り組みについて課題、対策を伺います。</p> <p>(2) 不登校の実態調査、原因、対策を伺います。</p> <p>(3) 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援体制は十分か、取り組みを伺います。</p> <p>(4) 教材費・図書費流用の状況及び対策について伺います。</p>		
4	<p>文化・スポーツ行政について</p> <p>(1) 小中学校の授業で琉舞や空手等の練習を取り入れ、子供たちに沖縄の文化を学ばせることができないか伺います。</p> <p>(2) 文化・芸術の継承・保存のため後継者育成支援が重要と思うが、取り組みを伺います。</p>		

- (3) 国は「文化芸術振興基本法」を制定し、文化予算に毎年1000億円を超える予算を計上しています。全国ではその予算を活用して多くの事業が推進されているが、県内の取り組み状況をお聞かせください。
- (4) 「県立郷土劇場」の閉鎖に伴い、新施設の建設が求められています。沖縄の文化・芸術の発展及び観光振興のためにも必要と考えるが見解を伺います。
- (5) 本格的な専用サッカー競技場（スタジアム）と練習場の整備が求められているが取り組みを伺います。
- (6) 2010年開催予定の高校総体の受け入れ態勢について
- ア 競技力向上対策はどうなっているか。
 - イ 施設の整備状況はどうなっているか。
 - ウ 泡瀬運動公園のテニスコートは老朽化し、その上、公式戦では全国的に芝が普及する中でいまだ土のコートです。改善する必要があると思うが見解を伺います。
- 5 平和行政について
- (1) 6月20日、超党派の国会議員で「日本に国連・国際機関を誘致する勉強会」が開催され、8月末までに提言をまとめ、9月に広島で開かれるG8（主要8カ国）下院議長会議で各国に働きかけるとしています。本県の国連・国際機関誘致の取り組みについて伺います。
- (2) 「太平洋・島サミット」等、国際会議の誘致促進について伺います。
- 6 飲酒行為について
- (1) 未成年者の飲酒行為が社会問題となっています。現状と対策を伺います。
- (2) 飲酒運転の状況、対策はどうなっているか伺います。
- 7 「ふるさと納税」の取り組みについて伺います。
- (1) 応援したい自治体や故郷への寄附額に応じて居住地での住民税を控除する「ふるさと納税」制度がスタートしているが取り組み状況（内容・現状・課題・対策）を伺います。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第2回沖縄県議会(定例会)

07月10日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	當山 眞市(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	<p>基地問題について</p> <p>(1) 普天間飛行場の移設措置に係る協議会の経緯と、北部市町村や県の意向に対する政府や米側の態度は軟化しているのか。また、知事は今後どのような態度で協議会に臨まれるか伺います。</p> <p>(2) 日米地位協定の改定は、県民世論として各界各層で早期改定に向けた機運が高まり、県としてもこれまで以上の強い態度で政府と協議すべきだと思いが、知事はどのようにお考えか伺います。</p> <p>(3) キャンプ・ハンセンのレンジ3付近で陸軍特殊部隊の新射撃場建設に、地元伊芸区では過去の事故被害から容認できないと反対しているが、県はどのように対応するか。</p> <p>(4) SACO合意に基づく軍用地の返還に伴う跡地利用計画が遅々として進展しない中で、県の振興計画後期の間に跡地利用事業が困難な状況の中で地主は不安を持っているが、半世紀以上も基地として提供していた地主の意向を受けて、県は振興計画終了後も継続して跡地利用事業に対して国、県の補助事業制度を適用していく方針を示すべきだと思いが、県の考えを伺いたい。</p>		
2	<p>東シナ海ガス田の共同開発について</p> <p>(1) 日中中間線近くで4年前から中国側が一方的なガス田開発を行っていたが、6月15日、日中共同開発で正式合意され、中国側企業に日本側が出資し折半して費用を負担し、半分の権益を得ることになったが、県の評価はどうか。</p> <p>(2) 日本企業による試掘許可に基づくガス田開発で、本県に入る予定の試掘税、鉦区税等の税収はどのようになるか。</p>		
3	<p>建築行政について</p> <p>(1) 改正建築基準法の施行から6月20日で1年が経過したが、新基準による審査期間の長期化による住宅着工数の推移と、現在までの改善策による状況はどのようになっているか。</p> <p>(2) 3月30日の建設関連団体決起大会「現場からの悲鳴」を受けて、県としてはどのように対処されたか。</p> <p>(3) 平成21年10月1日から施行される予定の住宅瑕疵担保履行法について、県内業者は資本力のない事業者は事業継続できなくなるとおびえているが、県はどのように考えているか。</p> <p>(4) 県の試算による10年後の建設業界の予想は、淘汰の時代を迎えたと言われる業界に大きな衝撃を与えましたが、県は建設産業ビジョンを受け、県経済の混乱を招かない施策をどのように考えていかれるか伺います。</p>		
4	<p>G8科学技術相会合開催について</p> <p>(1) 主要8カ国初の科学技術大臣会合が先月15日、本県で開催され、中国や南アフリカなど新興国を合わせて15カ国地域の大臣が来沖して開かれました。仲井眞知事も歓迎のあいさつをされ、各国の大臣を迎えられましたが、今回の沖縄開催の意義と効果をどのように評価されますか伺います。</p> <p>(2) 沖縄科学技術大学院大学の開学を控えて、沖縄を科学技術立県としてPRが必要とも言われていたが、県はどのように取り組まれるか。</p>		

5 アジア青年の家事業について

- (1) 内閣府の主催するアジア青年の家事業がことしからスタートするが、ことしはアジア14カ国30人と県内15人、県外30人の75人で8月6日から27日までの21日間、県内で開催されることになったが、当初計画の150人の半分になり、期間も1カ月から21日に減らされているが、共同生活を通して科学技術、情報技術学習を体験し、沖縄を国際感覚にすぐれた人材の育成拠点に位置づけ、今後、沖縄科学技術大学院大学のサマースクールと連携した研究体験も想定し、アジアに沖縄の魅力を発信することで観光振興にも貢献できると期待しているが、今後の規模についてどうなるのか伺います。

6 原油高騰対策について

- (1) 県内の中小企業や漁業者、畜産業が大きな打撃を受けているが、県に対しても窮地に立つ各事業者への支援を求める声が届いていると思うが、救済措置をどのように考えていかれるか伺います。

7 観光行政について

- (1) ことし10月に国土交通省内に「観光省」が設置されることになったが、その中で訪日外国人1000万人を2010年までに達成し、国際交流と経済の活性化を目指すとなっているが、本県としてはどのような取り組みを行うか。
- (2) 那覇空港国際線ターミナルの新設計画で2015年使用開始の方針となっているが、完成後、訪沖外国人客100万人を対応できる施設になっているか。
- (3) 仲井眞知事は、先月香港まで出向いて、香港エクスプレス航空への沖縄便増便要請や県産品の販売PR等、営業活動を展開してまいりましたが、その成果はどうか伺います。

8 我が会派の代表質問との関連について